

いずも I Z U M O 市議会だより

2014.11.20

No.38

編集／広報委員会
発行／出雲市議会



10月5日出雲大社において挙行された高円宮典子さま千家国麿さまご結婚奉祝事業



○議会の動き……………	2
○委員会報告……………	3
○学力調査結果……………	7
○一般質問……………	8
○請願・陳情……………	20
○採決の結果……………	22
○行政視察報告……………	26
○議会活動……………	27
○議会日程・編集後記……	28

平成26年度

第2回出雲市議会（定例会）報告

平成25年度（2013）出雲市一般会計歳入歳出決算を認定するなど、43議案を議決しました。

議会の動き

9月定例会市議会では、執行部から34件の議案が提出されました。

そのうち、「平成25年度（2013）出雲市一般会計歳入歳出決算認定について」などの決算議案19件について適当と認め、認定しました。

そのほか、「平成26年度（2014）出雲市一般会計第3回補正予算」などの予算議案4件、「出雲市児童クラブ条例の一部を改正する条例」などの条例議案9件、「備品の取得について（特殊災害対応化学消防ポンプ自動車）」などの一般議案2件が提出され、すべての議案を原案のとおり可決または認定しました。

議員提出議案としては、「出雲市農業委員会委員の推薦について」の人事議案4件、「議員派遣について」の議案1件を提出し、いずれも推選または原案可決しました。また、「地方財政の充実・強化を求める意見書」、「手話言語法」制定を求める意見書、「集団的自衛権行使容認の閣議決定撤回を求める意見書」および「米価安定対策を求める意見書」の4件を提出し、そのうち3件を原案のとおり可決、1件を否決しました。

会期日程

開会 平成26年(2014) 8月29日(金) **閉会** 平成26年(2014) 9月26日(金) 会期29日間

8月29日(金) 本会議（開会、議案上程・説明、採決）
 9月2日(火) 本会議（一般質問・1日目）
 9月3日(水) 本会議（一般質問・2日目）
 9月4日(木) 本会議（一般質問・3日目、議案質疑、委員会付託）
 9月9日(火) 総務委員会
 9月10日(水) 文教厚生委員会
 9月11日(木) 環境経済委員会

9月12日(金) 建設水道委員会
 9月16日(火) 予算特別委員会
 9月18日(木) 決算特別委員会（1日目）
 9月19日(金) 決算特別委員会（2日目）
 9月22日(月) 決算特別委員会（3日目）
 9月26日(金) 本会議（総務委員会、文教厚生委員会、委員長報告、討論、採決、閉会）

常任委員会・特別委員会報告

総務委員会

政務活動費の公開へ向けた取り組みが始まる

陳情第3号「政務活動費の積極的な公開を求める陳情」は、出雲市議会議員の政務活動費および政務活動記録を、出雲市議会のホームページに公開を求めるものです。

審査では、全国的に政務活動費の不透明な支出が問題視される中、基本的に政務活動費など議会の活動などについては公開し、議会の透明化を図るべきとの考えでは委員全員が一致しました。

しかし、陳情内容に示された公開対象は、個人情報報の取り扱いに整理すべき点があることや事務的負担など精査すべき事項もあるため、議会内での議論を

踏まえて判断する必要があることから、趣旨採択になりました。今後議会内で論点整理を行い、コンセンサスを得たものから随時公開を行うなど、早急に結論を得ていくよう取り組んでいきます。

政務活動費

政務活動費とは、地方議会議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、議会における会派に対し、交付されるものです。

政務活動費は、会派が行う調査研究、研修、広報、広聴、住民相談、要請、陳情、各種会議への参加等市政の課題及び市民の意思を把握し、市政に反映させる活動その他住民福祉の増進を図るために必要な活動に要する経費に充てることができます。

文教厚生委員会

「手話言語法（仮称）」の制定を求める意見書の提出を求める請願」を全会一致で採択

請願第4号は、手話が音声言語と対等な言語であることを国民に広め、聞こえない子どもが手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、さらには、手話を言語として普及、研究することのできる環境整備を目的とした「手話言語法（仮称）」の制定を求める意見書の提出を求めるものです。審査の結果、全会一致で採択することに決定しました。

請願第5号は、斐川学校給食センターが築後33年を経過し、老朽化が進んでいること、衛生面において不安があること、また、度重なる異物混入事故が発生していることなどから、同センターの早期移転新築を求めるものです。審査の結果、今後の市全体の建設計画は、早期に検討委員会を立ち上



斐川学校給食センターでの視察の様子

環境経済委員会

出雲市農業振興施策確立に関する陳情を採択

出雲市の基幹産業である農業の振興施策推進と、関係機関への働きかけを強く求める陳情を審査しました。

要望事項は、①21世紀出雲農業3F事業の継続と予算の確保

②柿産地維持拡大対策への事業支援③農業用排水路等の補修・改修の実施及び予算の増額④出

穂前の適期除草の実施⑤道路河川ふれあい愛護活動助成の範囲拡大、ため池整備、ナラ枯れ

病対策など、中山間地域における支援強化⑥学校給食における地元食材のさらなる使用拡大

⑦TPP交渉における国益遵守⑧行政による生産数量目標配分の継続など水田農業対策⑨畜産

経営安定対策⑩新規就農者への支援などです。

日本の農業は、米の生産調整制度や、米の直接支払制度の見直しを盛り込んだ新たな経営所

得安定対策など、大きな転換点を迎えるようとしています。

当委員会では、出雲市農業を守り、地域維持を図る観点から全会一致で採択することに決定しました。



〈平田の西条柿〉平成24年には野菜ソムリエサミット大賞を受賞

建設水道委員会

四絡地区内県道今市遙堪線の交通安全対策にかかる用水路改良と歩道整備についての請願を採択

「四絡地区内県道今市遙堪線の交通安全対策にかかる用水路改良と歩道整備についての請願」

これは、沿線の用水路に蓋かけを行うなど歩道整備を実施し、併せて抜本的な道路改良による交通安全対策を求めるものです。現地視察を行い審査した結果、当該路線は通学路であり、車両および歩行者の交通量が多い中、大方が歩道未整備で、道路横に敷設された水路は深い開水路であるなど、歩行者などの交通安全に支障をきたしているとの認められるため、採択と決定しました。

「鶴峠^{うづたけ}区民の悲願である安全で安心して生活できる道路整備を求める陳情について」

これは、地区内の高台に位置する権現集落への生活道路の拡張および整備を求めるもので

す。現地視察を行い審査した結果、車両の通行が可能となる整備には、急斜面での工事で困難を極めるほか、多額の経費もかかるため、現実的ではないと判断し、不採択と決定しました。なお再度、地元と執行部とで十分に協議されるよう意見を添えました。



県道遙堪今市線沿線にある深い開水路



神西沖にある出雲市建設発生土改良センター

本定例会において審査の付託を受けました案件は、一般会計の補正予算1件、特別会計の補正予算3件の計4件です。市長出席のもと、9月補正予算の編成方針などの総括質疑をはじめ、各補正予算の詳細について質疑などを行い、慎重に審査を行った結果、いずれも原案のとおり可決しました。

議第26号 平成26年度出雲市一般会計第3回補正予算は、歳入歳出予算をそれぞれ11億3900万円追加し、予算の総額を752億6350万円とするものです。

歳出の主なものとしては、総務費では、高円宮典子さま千家国麿さまのご結婚を祝い、奉祝事業を行うための負担金として300万円、中海・宍道湖・大山圏域市長会構成5市長によるインド視察にかかる市長会負担金の追加として200万円などが計上されています。

土木費では、建設発生土改良センター事業を今年度で廃止するにあたっての、原状回復費用に対する補助として2千万円などが計上されています。

このほか、水痘および高齢者肺炎球菌ワクチンの定期予防接種に要する経費や、農林水産

予算特別委員会 行財政改革集中期間の事業執行は慎重に

業費での多面的機能支払交付金、また平田消防署移転新築事業など、必要な事業が計上されていました。一方、審査の過程では、いくつかの市単独事業に関して、その必要性に疑問があるとの意見が寄せられました。

市民に対しては行財政改革集中期間として一層の理解を求めている最中です。執行部には慎重な事業の執行を求めました。



予算特別委員会での審議の様子

予算特別委員会委員名簿

【委員】

委員長	松村 豪人
副委員長	渡部 勝
委員	長廻 利行
委員	宮本 享
委員	山代 裕始
委員	米山 広志
委員	川上 幸博
委員	萬代 輝正
委員	遠藤 力一
委員	小村 吉一
委員	伊藤 繁満
委員	井原 優
委員	福島 孝雄
委員	神門 至
委員	大谷 良治

決算特別委員会

行財政改革の断行と適正な予算執行を望む

今定例会に審査の付託を受
けました案件は、平成25年度の

「出雲市一般会計歳入歳出決算
認定」、16の「特別会計歳入歳出
決算認定」など19件でした。一
般会計と特別会計を合わせた決
算総額は、歳入が1260億1
千万円、歳出が1240億4千
万円、収支差額は19億7千万
円で、これから翌年度へ繰り越す
べき財源4億2千万円を差し引
いた実質収支額は15億5千万
円の黒字となりました。

起債残高は平成25年度末が
2075億円であり、平成24年
度末よりも74億4千万円、率に
して3・5%減少しましたが、
依然として起債残高は多額で
あり、引き続き削減努力が必要
です。

今回の決算審査では、昨年の
委員会からの要請もあり、長岡
市長出席のもと決算審査を行い

ました。

審査結果については一部の委
員から不認定との意見もありま
したが、19件すべての案件につ
いて認定しました。しかし、認
定とした中にも、事業に対する
評価・検証が不足しており、成
果が出なかった事業に対しては
検討が必要である、国民健康保
険料は、医療費に大きく関わっ
ており、ジェネリック医薬品の
利用促進や、保健指導、健診な
どをすべきである、介護保険事
業では、保健師の人数が他市と
比べ少ないことから、健康政策
にいつそう取り組む必要があ
る、病院事業では、病院の職員
数の多さに疑問がある、医師不
足はわかるが、診察するたびに
医師が違うなど、病院の経営努
力が必要である、などの意見が
ありました。

また、不認定とすべきとの理

由としては、過去の身の丈を超
えた予算執行のつけが現在の財
政難の要因であり、政治の転換
を求める、税金の厳しい取り立
てが市民の生活にそぐわない形
で行われている、国民健康保険
料が高く、一般会計から国保会計
への繰り入れが必要である、介
護保険事業において高齢者を75
歳で区別することは反対であ
る、水道事業特別会計で

は、簡易水道と公共水道の
統合は、水道料金の値上げ
につながる、企業用地造成
事業では、斐川中央工業団
地について、来るあてもな
い企業のために工業団地を
造る必要がない、などの意
見がありました。

今回の審査においては、
質問に対する職員の対応に
時間がかかり、答えに窮す
る場面が多く見られました。
職員は市民の期待に応える
上で、さらなるプロ意識を
持つ必要があるとの意見が
ありました。

決算特別委員会が設置されました

8月29日の本会議において、各決算認定を審査するため、15名の委員で構成する決算特別委員会が設置されました。

決算特別委員会の委員は下記のとおりです。

【委員】

委員長	多々納剛人	委員	板垣 成二
副委員長	大場 利信	委員	飯塚 俊之
委員	珍部 全吾	委員	保科 孝充
委員	古福 康雅	委員	原 正雄
委員	勝部 順子	委員	寺本 淳一
委員	板倉 明弘	委員	湯浅 啓史
委員	板倉 一郎	委員	岸 道三
委員	大国 陽介		



決算特別委員会での審議の様子



施設の状況を調査

行財政改革特別委員会 検討結果を市長へ報告提言

市議会改選後の昨年よりスタートした特別委員会では、主たる視点を800余の公共施設のうち、執行部懸案の見直し対象施設203施設の見直しに特化することとしました。20回を超える審議の中で、施設の収支

明細や今後の再投資の有無や耐震化、利用者数や維持管理費の詳細と年次推移、地域特性、老朽化、市民ニーズなどについて、現地視察や担当課からのヒアリングを行いました。執行部においては、市として評価基準を設定し、各施設の評価数値を公表されました。

第1期として64施設に対し、市としてのサービス提供の可否を確認し、次に施設群の方向性を確認、そして個別施設について、①存続②統合③譲渡④廃止などの意見を付して、市長へ報告提言しました。

時代のニーズが変遷する中、市議会として、財政再建を早期に達成することで、次世代への投資も可能となるよう、合併後10年を迎えようとするこの時期に真の選択と集中の観点をもって英断に努めてまいります。

平成26年度 学力調査結果が公表されました

1 島根県学力調査の平均正答率（平成26年4月24日・25日実施）

区分	小 学 校								中 学 校					
	3 年生		4 年生		5 年生		6 年生		1 年生		2 年生		3 年生	
	島根県	出雲市	島根県	出雲市	島根県	出雲市	島根県	出雲市	島根県	出雲市	島根県	出雲市	島根県	出雲市
国語	72.7	73.3	65.4	66.2	68.2	68.5	—	—	69.6	70.8	70.5	72.1	—	—
算数・数学	71.9	72.1	71.1	71.5	66.0	66.6	—	—	62.8	64.4	58.7	62.0	—	—
理科	—	—	—	—	60.8	61.8	68.2	70.1	59.4	61.9	56.1	58.0	50.6	52.4
社会	—	—	—	—	69.7	70.3	66.3	67.3	60.2	62.2	49.4	51.3	51.1	52.9
英語	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	64.1	67.5	60.5	65.2

（太数字は、島根県の平均正答率を上回った教科・学年）

2 全国学力・学習状況調査の平均正答率（平成26年4月22日実施）

区 分	小学校6年生			中学校3年生		
	全国	島根県	出雲市	全国	島根県	出雲市
国語 A（知識）	72.9	73.6	74.9	79.4	80.2	82.2
国語 B（活用）	55.5	54.5	55.1	51.0	52.0	56.0
算数・数学 A（知識）	78.1	76.3	76.8	67.4	66.1	69.0
算数・数学 B（活用）	58.2	56.5	58.1	59.8	59.1	62.6

（太数字は、全国の平均正答率を上回った教科・学年）

- 小学校は両調査ともにすべての教科・学年で県平均正答率を上回り、全国学力調査では、国語 A（知識）において全国平均正答率を上回りました。
- 中学校は、両調査ともにすべての教科で県平均正答率を上回りました。また、全国学力調査でも、すべての教科で全国平均正答率を上回りました。

3 生活・学習意識調査からみる出雲の子ども

（1）よかったところ

- ①「将来の夢や目標を持っている」「学校へ行くのは楽しい」「先生はわかりやすく話したり説明したりしてくれる」「先生は宿題を丁寧に返してくれる」と回答をした子どもは、すべての学年で80%を越えました。
- ②「授業はわかりやすい」と回答をした子どもは、すべての学年・教科で80%を越えました。

（2）課 題

- ①「学校の宿題をしている」と回答した子どもは、すべての学年で95%を越えました。しかし、時間をかけて宿題をする子どもの割合は低い傾向にありました。
- ②スマートフォンを平日に3時間以上使用していると回答した子どもの割合が10%近くになる学年がありました。また、テレビやDVD、ゲームと接している時間が平日に3時間以上と回答した子どもが、すべての学年において約20%いました。

市政のここが聞きたい 一般質問

9月定例市議会では22人の議員がそれぞれ以下の項目について質問を行いました。1人1問ずつ選んで(◎印のもの)掲載しています。なお、原稿は質問した議員自身が要旨をまとめたものです。

湯浅啓史 議員 (9ページ)

- ◎出雲市の財政状況と財政計画
- ・行財政改革の進捗と今後

多々納剛人 議員 (9ページ)

- ◎平成27年度介護保険制度の改正
- ・企業誘致策

福島孝雄 議員 (10ページ)

- ・出雲市の防災対策
- ◎不安視される、今後の農業経営

勝部順子 議員 (10ページ)

- ◎迫る超高齢社会を、地域の絆で支えあう

大国陽介 議員 (11ページ)

- ◎子ども・子育て支援新制度の課題と見通し
- ・放課後児童クラブ
- ・高すぎる保険料の引き下げなど国民健康保険の改善を
- ・税・保険料が払えない市民への対応

川上幸博 議員 (11ページ)

- ◎新規就農者支援策と3F事業
- ・二ト対策
- ・農地転用申請の現状

大谷良治 議員 (12ページ)

- ・道路・河川の適切な維持管理
- ◎障がい者ヘルプカード(仮称)の普及促進

米山広志 議員 (12ページ)

- ・市の花「菊」
- ・住宅空き家対策
- ◎スポーツ振興事業関係補助金見直し

板倉明弘 議員 (13ページ)

- ◎小中学校周辺・主要通学路への防犯カメラ設置促進
- ・全国学力・学習状況調査の結果分析と市教委の指導方針

小村吉一 議員 (13ページ)

- ◎土砂災害の防止を求めて
- ・来年度以降の地方交付税の算定

保科孝充 議員 (14ページ)

- ◎出雲市非正規職員の給与・労働実態
- ・国宝出土30周年を祝う荒神谷史跡公園の実態

井原 優 議員 (14ページ)

- ・介護保険
- ◎斐川学校給食センターの移転新築
- ・生活道路及び幹線道路における安全確保

飯塚俊之 議員 (15ページ)

- ◎宍道湖北部の道路整備

伊藤繁満 議員 (15ページ)

- ◎豪雨災害の防災対策は万全か
- ・異常気象による農作物への影響

神門 至 議員 (16ページ)

- ・安心・安全な学校給食を提供するために
- ◎ぶどう生産農家への支援

原 正雄 議員 (16ページ)

- ・神戸川再生
- ◎「出雲エネルギーセンター」に替わる「次期可燃ごみ処理施設」の整備スケジュール

岸 道三 議員 (17ページ)

- ・子ども・子育て支援事業計画の策定
- ◎総合医療センターにおける経営改善
- ・空き家対策

渡部 勝 議員 (17ページ)

- ・森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業
- ◎中山間地域にあった農業振興と地域支援策を

板倉一郎 議員 (18ページ)

- ◎地域学校運営理事会
- ・出雲市の雇用状況

遠藤力一 議員 (18ページ)

- ◎危険ドラッグの実態
- ・市立図書館の活用

大場利信 議員 (19ページ)

- ・出雲いりすの丘公園の再開
- ・地域自治区及び地域協議会の見直し
- ◎斐川町との合併時の引継事項

珍部全吾 議員 (19ページ)

- ・選挙公約の地域医療の連携と健診体制の充実
- ◎各地域の出身者会活動支援
- ・出雲市における外国人の生活保護

あらためて出雲市の 財政状況を問う

問 平成25年度決算がまとめられたが、平成24年度に策定された財政計画と比較して、現在の出雲市の財政はどのような状況か、財政部長としての考えを伺います。

財政部長 歳出規模は国の経済対策などにより約11億円増の758億円となったものの、

地方債残高は約34億円減の1260億円、実質公債費比率は0・7%減の20・3%、将来負担比率は32・4%減の206・6%となり、起債の新規発行額の抑制や繰上償還の実施などにより、いずれの数値も改善傾向にあります。

しかしながら、今後の普通交付税一本算定への移行の影響や消費税率の改定、社会保障関係経費の見直しなど、不透明な部分が多く、また、類似団体などとの財政指標には大きな開きがあり、今後より一層の財政健全



湯 浅 啓 史

化への取り組みを進めていく必要があると考えています。

■出雲市の財政状況と計画値

項目	H25計画値	H25決算値	H34計画値
歳出規模	746億3000万	755億7800万	662億8000万
市債残高	1294億4900万	1260億3600万	801億5300万
実質公債費比率	21.0%	20.3%	16.0%
将来負担比率	239.2%	206.6%	169.2%

※計画値は出雲市財政計画（平成24年12月策定）で示された数値

介護保険制度改正による 対応を問う

問 新たな地域支援事業の整備スケジュールを伺います。

健康福祉部長 平成29年4月までに実施します。

問 介護予防利用者の割合や、給付費に占める割合を伺います。

健康福祉部長 利用者は介護保険給付全体の17・3%で訪問介護利用者が365人、通所介護利用者が730人です。給付費の割合は訪問が11・4%、通所が41・6%です。

問 介護予防サービスは現行と比べ、どのように変わるのか伺います。

健康福祉部長 予防給付の訪問介護及び通所介護は市町村が実施する予防事業へ移行します。

問 移行する事業所の整備目標や指定について伺います。

健康福祉部長 第6期出雲市高齢者福祉計画で目標数を盛り込む事となっています。

問 地域包括ケアシステム構築へ向けた市の取り組みを伺います。

健康福祉部長 在宅医療と介護の連携など、今後の課題に対し、医療機能分担会議とも連携し取り組みでまいります。



多々納 剛 人

収入減少により先行き不安の 農業を如何に 守るのか



福島 孝雄

問

①本年度産米の概算金の下げ幅を伺います。②農業収入減少時の補填として、米・畑作の収入影響緩和対策（ナラシ対策）が来年度より緩和されますが、それによる対象者の増加数を伺います。③今後の生産調整の取り組みを伺います。④政府が目指す所得増計画に対する市の考えを伺います。

農林水産調整監

①島根県産米は60kgあたり3200円から3400円（過去最大）の下げ幅になります。全国平均は2千円から3千円程度です。②本市では162の経営体が現在加入していますが、要件緩和により97経営体（前年比6割）が増加します。③今年度の米取引の動向を注視し、検証した上で地域に合った農政を国に要請していきます。④地域特性を考え水田

フル活用を図り、売れる米作りを推進し、県・JAと連携して付加価値を高め所得向上を目指します。

平成26年度産米の概算金単価について

(JA米基準：60kg/円)

品種	年産	1等	2等	3等
ハナエチゼン	26年産	8,000	7,400	6,400
	25年産（参考）	11,200	10,600	9,600
コシヒカリ （M基準）	26年産	8,800	8,400	7,400
	25年産（参考）	12,000	11,600	10,600
つや姫 （特別栽培米）	26年産	8,800	8,200	6,700
	25年産（参考）	12,200	11,600	9,800
きぬむすめ	26年産	8,400	7,800	6,800
	25年産（参考）	11,600	11,000	10,000
加工用米	26年産	7,000	7,000	6,000
	25年産（参考）	9,400	9,400	8,400
銘柄モチ	26年産	11,600	10,400	9,400
	25年産（参考）	11,000	9,800	8,800

迫る超高齢社会を地域の絆で 支えあう

問

団塊世代が、

2025年には75歳以上になり、医療と介護の需要の急増が見込まれます。これへの対応について2点伺います。

①認知症地域支援推進委員の配置・認知症サポーターの育成についての考え

②高齢者のボランティアポイント制度の推進についての考え

健康福祉部長

①推進委員の配置は、出雲高齢者あんしん支援センターへの委託で、配置しています。認知症サポーターは、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることを目指し育成しています。

②平成19年に制度化され、ボランティア活動に取り組む高齢者の活動実績をポイントとして評価し、介護保険料や介護サービ



ス料に充てる制度です。出雲市では、都会地に比べて近隣や地域での助け合いが多く残っていますが、地域特性なども考慮し、介護保険運営協議会の中で検討したいと思っています。



勝部 順子

新制度へ移行する児童クラブ 基準は下げることなく 充実を

問 子ども・子育て支援新制度への移行にあたっては、厚労省のガイドラインや市独自の

ルールなど、現在の基準を下回ることなく、より充実させるという方針で臨む必要があります。国基準では、専用区画の面積を児童1人あたり1.65㎡となつていますが、あまりにも狭過ぎます。居室面積は玄関や廊下、手洗い、調理室、静養スペースなどを除いて、1人あたり2.5㎡程度を最低基準とすべきことを求めます。

文化環境部長 基本的には厚生

労働省令に従い、最低基準を定め、施設設備、職員、運営などについては、現在の基準を下回ることなく、向上させていくよう努めます。市内クラブの現状では、児童1人あたりの面積に差があり、2.5㎡を満たしてい



大 国 陽 介

放課後児童クラブの新制度実施に当たっての主な変更点

- 【対象児童】 小学校3年生まで → 小学校6年生まで
- 【児童1人当たり専用区画面積】
 - ・施設整備等における市の目安2.0～2.5㎡（従来どおり）
 - ・新たに条例に規定した最低基準おおむね1.65㎡以上
- 【1クラブの規模】 最大70人まで → 上限なし

るクラブは、全44クラブ中22クラブであり、1.65㎡に満たないクラブが5クラブあります。まず、この基準を下回るクラブの解消に努めます。

今後の農業3F事業方針を伺う

問 農業3F事業は、平成18

年より始まり、3年ごとに見直しが行われています。この事業は、農業者の皆さんから更なる充実を望む声が多くあるとともに、市長は、産業振興の重要な柱のひとつとして挙げられています。

また、農業3F事業が下支えとなり販売額が安定しています。このような中、次期事業に向かい今後の方針について伺います。

農林水産調整監 現在第4期に

向かい見直しを行っています。見直しにあたり実施対象事業の現状把握や事業効果の検証を基に、担い手、生産現場の声の反映、国の農業施策の動向や国、県補助事業とのマッチングにも配慮し、より効果的な事業にしていこう考えです。農業を取り巻く環境は厳しいですが、農業の元気は地域の元気につながるので、生産拡大に向け意欲のある営農組織や農業者に支

援を継続していく考えです。

農業3F事業

出雲市農業の発展拡大・維持のため、出雲市とJAいづもの協働により実施している事業。①米・麦などの農産振興、②果樹・野菜などの特産振興、③畜産振興の3つを柱に、農業機械・施設整備の導入等を支援している。



川 上 幸 博

障がい者への理解を深めるため、ヘルプカードの導入を提案する

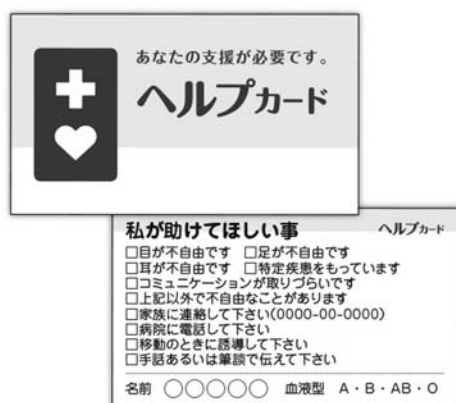
問 内部障がい者や聴覚障がい者、知的障がい者など、一見、障がい者とはわからない方にとって、災害時・平時を問わず周囲に自己の障がいへの理解や助けを求めるツールとして「ヘルプカード（仮称）」の導入を検討されるべきと考えます。

障がい者への理解を深めるとともに、つながりのある地域づくりを目指すためにも必要と考えますが、所見を伺います。



大谷良治

まいしと考えています。今後、県および県内他市の状況を調査し、この取り組みについて検討したいと考えています。



ヘルプカード作成の一例

健康福祉部長 ご提案のカードは、本人の安心感も得られて周囲とのコミュニケーション支援および地域社会に向けての障がいの理解の促進に役立つものです。また、災害時のような非常事態においても有効であると考えています。より効率的なカードの利用のためには、市単独ではなく、全県的な取り組みが望

スポーツ振興事業 行財政改革の名のもとに3千万円削減

問 平成26年度の予算額は1億1266万円です。平成27年度以降、8千万円の目標額が示されました。その算出根拠について伺います。

文化環境部長 本来市が担うべきものであるか、市民生活に欠くことができないものであるか、費用対効果は適切であるかの観点から、現在、全事業の見直しをしています。8千万円の内訳は、①出雲市体育協会関係が2千万円②出雲市スポーツ少年団本部関係が600万円③出雲駅伝・一畑薬師マラソン大会・吉岡隆徳記念出雲陸上競技大会・出雲の國ソーデウォークなどに3千万円④文化スポーツ課が直接執行する事業および委託関係事業の1600万円を積み上げたものです。



米山広志



スポレク祭地区対抗体育祭 (H25.10.27)



地区対抗駅伝カーニバル (H25.11.17)

学校周辺への防犯カメラの設置促進を

問 街頭犯罪を抑止し、犯罪のない安全で安心な社会の実現を図るため、全国の自治体において防犯カメラ設置事業が活発に展開されている。市内での防犯カメラの設置状況と設置管理者、経費負担の状況を伺います。また、学校周辺および主要通学路への設置促進と経費負担は市教委として取り組むべきだと思います。

防災安全管理監 防犯カメラの設置数は、市が設置しているのは学校、文化施設、地下道、JR駅などに81台、自治協会が出雲地区防犯協会から支給を受けての設置は、地下道や通学路、商店街などに58台です。その内、学校周辺の通学路は、斐川地域の14台は市で、出雲、平田、大社地域の11台は地元の自治協会で設置をし管理しています。児童生徒の安全確保のために、防犯カメラの設置は必要で



板倉 明 弘

すが、財政負担や社会動向を見極めながら検討していきます。



大津小学校前の防犯カメラ

「土砂災害」の防止を求めて

問 広島市の大規模な土砂災害を教訓として、本市の土砂災害防止の現状について伺います。

防災安全管理監 市の土砂災害警戒区域は2869カ所、土砂災害特別警戒区域の対象箇所数は、急傾斜崩壊区域が1720カ所、土石流の区域が351カ所、合計2071カ所です。いずれも「防災ハザードマップ」に表示し、市民の皆さまに配布し周知に努めています。

また、現在県が土砂災害対象事業として事業を進めている危険カ所は633カ所、その内整備済みは113カ所となっています。

問 ハザードマップは、実効性のあるものになっているでしょうか。ただ配布するだけでなく、住民と一緒になぜその



小伊津町（平田）に起きた大規模な土砂災害（昭和40年）：『平田の歩み』より

ようになったか考えることが必要ではないでしょうか。また、まだ未整備の危険カ所の早期整備を要請します。

防災安全管理監 ご指摘のとおり、配布しただけではその意味合いもお伝えできませんので、今後、可能な限り使用の仕方など伝えることが大切だと思います。



小 村 吉 一

非正規職員は公務員ですか

問 今年の人事院勧告の中で

は非正規職員の給与関係について触れられています。①自治体の非正規職員は公務員なのか非公務員なのか不公平で疑問を抱かざるを得ないのですがどうですか。②現在の給与では厳しいと思いますがアルバイトは許されるのですか。③幼稚園・保育園の非正規は担任を持っていますが待遇の改善はないのですか。



保 科 孝 充

総務部長

①非正規職員は正規職員と同様地方公務員と位置づけられています。給与は任命権者が職員との均衡を考慮して予算の範囲で定められるとしています。②アルバイトは地方公務員法第38条などの服務規定により営利企業に従事することは制限されています。職務に対する集中心、職務専念義務が損なわれる事を未然に防止するものです。③非正規職員については子の看護休暇、短期介護休暇などの休暇制度について充実しました。現時点では賃金賞与の見直しを行う考えはありません。



正規・非正規職員が一体となって出雲市を支えています

斐川学校給食センターの移転新築を

問

斐川学校給食センターは、築後33年が経過し、地盤沈下などもあり、施設全体の経年劣化が急速に進んでいるほか、施設が狭隘で調理業務の効率化の問題、床がドライ式になっていないなど、衛生面での不安も抱えています。施設の修繕工事、調理器の更新がされているものの、根本的な解決に至っていません。安全・安心な学校給食の提供ができる給食センターは地域住民の強い要望です。ついては、①斐川学校給食センターの整備方針②自校方式の考え③学校給食における地産地消について伺います。

教育部長

①斐川学校給食センターの建て替えは、市全体のセンターの配置、食数などを考慮し、建設場所も含め検討する考えです。②多額の経費、事務負担がかり、センター方式が定着していることから、困難

と考えます。③米、野菜類の11品目の仕入れ調査を県が実施し

地元食材の使用率は46%であり、安来市の51%、大田市の50%について3番目です。



斐川学校給食センターの移転新築が待たれる



井 原 優

地域高規格道路「境港出雲道路」の早期ルート決定と事業化を

問 境港出雲道路は、宍道湖・中海の北岸を通る全線約70kmの地域高規格道路です。山陰自動車道とともに、宍道湖・中海圏域を8の字ルートを形成し、両圏域の発展の要になるものと考えていますが、16年経過しながら、開通しているのはわずかに約15km、整備率にして約21・4%という進捗状況です。そこで、早期ルート決定と事業化へ向けた今後の見通しを伺います。

ことで進捗が遅れていますが、県からはさまざまな状況を総合的に判断した上で対応するとの回答がありました。



飯塚 俊之

市長 境港出雲道路の早期ルート決定と事業化については毎年島根県へ重点要望を行っていきます。また、原子力災害の主要避難道路としても期待できるものであり、さらに強く要望していきたいと思います。道路整備財源が抑制されたことや、他の事業を関連事業として先行された



境港出雲道路の概要

記録的豪雨災害から住民の生命・財産を守れ

問 防災ハザードマップは全戸に配布すべきで、1人の犠牲者も出すべきではありません。山林が荒廃し崩れやすい状況です。土石流災害の危険から生命・財産の安全確保が重要です。一方、出雲空港滑走路の標高は中央部で1・427mと低い状況となっています。宍道湖西岸の8カ所の排水機場は、空港、公共施設をはじめ広範囲にわたる住宅、田畑の災害防止などに重要な役割を果たしています。市長は不安解消に尽力すべきです。

先度・緊急度に応じて順次整備を進め不測の事態が生じないよう万全を期します。排水機場の重要性は、防災会議において検討します。

防災安全管理監 ハザードマップの重要性や入手の方法について積極的に情報発信し、きめ細かな配布の仕方について検討します。土石流危険箇所は、633カ所のうち113カ所が整備済となっています。老朽化が進んでいる排水機場が正常に機能するように点検に努め、優



伊藤 繁満



出雲縁結び空港と周辺住宅、農地などの災害防止に昼夜稼働する各排水機場

出雲市の特産「ぶどう生産」への 支援策を伺う

問 ぶどう農家を取り巻く環境は、これまで生産を支えてきた生産者の高齢化・世代交代により担い手・労働力不足などの理由から廃園などが相次ぎ、今後の産地維持が危惧されています。①その現状と課題。②支援策について伺います。



神 門 至

農林水産調整監 ①農家戸数・栽培面積は、最盛期の昭和60年



手入れされた集荷前のぶどうハウス

頃と比較すると半減しており、生産者の年齢は60歳以上が全体の8割を占め、平均年齢は67歳、品種はデラウェアが全体の9割、生産者の高齢化や重油価格や資材費高騰などによる経営の圧迫、ハウスの老朽化、樹体の老木化などの課題があります。②本市は、県や関係団体などと連携し、ぶどうチャレンジ講座、新規就農者に対する就農相談・経営指導などの支援を行っています。今後は、繁忙期の労働補完対策として「農業サポート制度」の検討を行うなど、各種支援を通じてぶどう生産を振興していく考えです。

「次期可燃ごみ処理施設」の 建設について伺う

問 現在の出雲エネルギーセンターの耐用年数が20年ということから、それに間に合うように施設の設置場所を決定するために調査されていますが、この財政事情の中でも平成34年の完成稼働は間違いのないか、また、場所は検討されているか伺います。

環境政策調整監 当施設は、平成15年10月に引き渡しを受けて11年を迎えます。地元神門地区の皆さんの協力のもと、定期的な補修管理を行いながらも主要機器の耐用年数のため更新が必要となります。建設候補地の選定は、手順に従い現地調査のうえ、庁内関係部局と連携を図り慎重に取り組みます。また、耐用年数から平成34年に円滑に移行できるよう、事業を進めていく考えです。



原 正 雄



現在の出雲エネルギーセンター

総合医療センターの 経営改善策を問う

問

①現金収支における
単年度黒字化の要因②経営
改善に向けた今後の課題③医師
確保・看護師確保対策の取り組
みについて伺います。

総合医療センター事務局長 ①収
益面では療養病棟の入院患者数



経営改善が進む出雲市立総合医療センター



岸 道 三

の増、眼科の手術件数の増、外
来ドックの増、費用面では「ス
ピーディー」導入による材料費
の減などによる増加額の抑制が
要因です。②給与費総額や諸経
費の縮減をはかり、入院収益の
増、医師をはじめとした必要な
マンパワーの確保により、病院
会計全体の純現金収支の黒字化
を目指します。③医師確保は島
根大学医学部への働きかけを基
本とし、赤ひげバンクなどの活
用をはかり、処遇改善と勤務環
境の整備もすすめます。看護師
確保については、看護師養成奨
学金制度の活用と養成施設の実
習を積極的に受け入れます。

中山間地域に合った農業振興と 地域支援策を

問

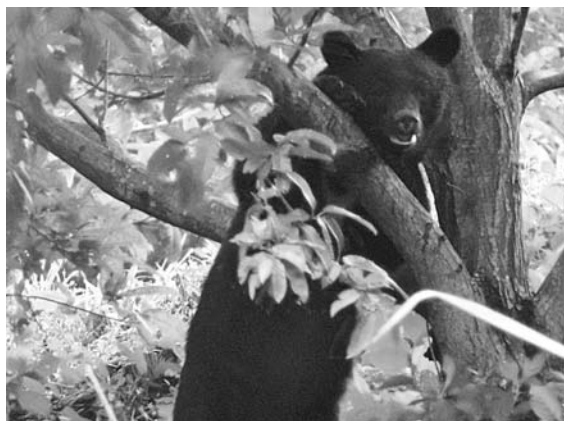
①3F事業対象外の農業
従事者に対してもきめ細やかな
支援策を②中山間地域の道路、
河川の除草作業に対して、さら
なる支援を③ため池の現状と今
後の対応策は④クマの出没地域
と回数、また被害状況について
伺います。

農林水産調整監

①今年度は第

3期の最終年度で現在第4期目
に向けて見直し中です。中山間
地域の実情に即した検討が必要
と考えています②道路河川の除
草のあり方について総合的に検
討すべき課題と考えています③
廃止を希望されている数は
185カ所、修繕が必要とされ
たものは301カ所です。今年
度から農業用ため池廃止事
業費補助金交付要綱を制定
し対応していきます④佐田
地域をはじめ現在28件の目撃情
報があります。果樹や野菜の被
害が3件です。人身被害が発生

した場合、県はクマを捕獲し適
切な処分を行うと聞いています。



佐田町に出没したツキノワグマ



渡 部 勝

地域学校運営理事会の改善を

問 地域学校運営理事会について、あり方を見直す時期に來ていると考えます。教育委員会の考えを伺います。

教育長 事務を担当する負担感はあると思いますが、地域との連携が円滑になるとともに活動が拡大しています。今後もさらに地域や学校現場の意見を聞きながら、より良い制度となるように努めます。

問 学校側と理事側の負担感を考えて踏み込んだ見直しに取り組むべきと考えるが、考えを伺います。

教育長 簡略化・簡素化することについては、同感でありできればそうしていきたいと思えます。理事のみなさんに評価していただくときには、少ない項目数でお願いすることはできると思いますし、評価点、数字の記入は必要ないと思っています。



板倉 一郎

問 全校配置の考え方は変わらないのか伺います。

教育長 全市一本で同じ環境で、全体を良くする形で制度を運用していきたいと思えます。



危険ドラッグ撲滅キャンペーンの実施を

問 危険ドラッグは、非常に恐ろしいもので、使用すると意識障害を起こし、最悪の場合、死亡する薬物です。

化学式を少し変え次々と新しいものが生み出され、普通の店舗で公然と売られています。また、インターネットで全国に流通し、年齢、性別、地域関係なしに誰でも入手できる状態です。

①市内での流通の実態②若年層がかかわった事件の有無③若年層の認識④啓発などの予定を伺います。

健康福祉部長 市内での流通情報、若年層が関与した事件はありません。意識調査は現在までのところ行っていないです。

授業における薬物乱用の危険性についての学習、薬物乱用防止教室の開催など啓発に努めます。

問 不正な薬物は絶対に許さない、薬物ゼロを目指す撲滅キャンペーンなどをやっている



遠藤 力一

ただきたい。

市長 今から予防的なキャンペーンをしっかり打っていく必要があります。



危険ドラッグ警告・啓発ポスター（厚生労働省）

斐川町との合併時の引継事業の現時点の状況を伺う

問 斐川町との合併からまもなく3年が経過します。この間厳しい財政運営を強いられる中、斐川中央工業団地の造成や西野小学校などの屋内運動場の移転新築などに取り組まれて来ましたが、未実施の事業の今後の見通しを伺います。

市長 引き継いだ事業のうち斐川学校給食センターの移転新築



移転新築の請願が出された斐川学校給食センター



大場 利信

については市全体の学校給食センターの配置を検討しながら決定していく考えです。市道整備につきましては、上庄原北筋線や上直江大島線などの6路線が未実施ですが、全体計画の中で、優先順位を付け、実施して行く考えです。その他の引継事業は、出雲未来図に則し、市全体のバランスに配慮しながら実施していきます。

問 市道整備についてより具体的に伺います。

都市建設部長 斐川町との合併前に策定した幹線市道整備10か年計画中の52路線と同等な扱いで整備していきます。

出身者会の補助金について

問 東京・大阪などの都市には旧市・町単位で『出雲出身者会』があります。これらの会は、さまざまな企画をしたり、中には会報を発行するなどの活動もしています。旧市・町では、長年にわたり会に補助金を交付してきました。そして当会の皆さん方は、ふるさと納税をしたり、都市部の情報を提供するなど、当市としてもいろいろお世話になってきたと思います。しかし出雲市は、補助金を見直し、平成29年度には、旧市・町単位ではなく、合併しひとつの会になっている東京出雲会だけに交付するとしています。出雲を離れ、都市から出雲を思う皆さんの会です。将来の補助金交付を再度要望いたします。

総合政策部長 平成24年度の決算審査意見および関東、近畿、広島の各圏域で一本化された団体へ交付すべきという指摘に基づき、平成29年度実施に向

けて検討しております。



近畿いずも会総会（平成26年9月14日）



珍 部 全 吾

請願・陳情の審議結果

【請 願】

番号	件 名	提 出 者	審議結果
2	四絡地区内県道今市遙堪線の交通安全対策にかかる用水路改良と歩道整備についての請願	出雲市小山町 四絡自治協会 会長 園山 祥之 他2名	採 択 に 全員賛成
3	2015年度（平成27年度）私立認可保育所（園）関係予算等についての請願	出雲市大津町 出雲市私立認可保育所（園） 理事長会 会長 原 成充 他1名	趣旨採択 に 賛成多数
4	手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願	松江市東津田町 島根県ろうあ連盟 連盟長 廣戸 勉	採 択 に 全員賛成
5	斐川学校給食センターの移転新築に関する請願	出雲市斐川町福富 斐川地域自治協会連合会 会長 遠藤 泰夫 他16名	趣旨採択 に 賛成多数
6	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出を求める請願	出雲市今市町 全日本自治団体労働組合 島根県本部 出雲市職員連合労働組合 執行委員長 岩崎 慎一	採 択 に 全員賛成

【陳 情】

番号	件 名	提 出 者	審議結果
2	鵜峠区民の悲願である安全で安心して生活できる道路整備を求める陳情	出雲市大社町鵜峠 地縁団体鵜峠法徳会 区長 田中 成昌	不 採 択 に 賛成多数
	なぜ不採択	車両が通行できるほどの道路拡張は、多額の経費がかかることが見込まれるため	
3	政務活動費の積極的な公開を求める陳情	出雲市大津新崎町 森山 哲郎	趣旨採択 に 賛成多数
4	出雲市農業振興施策確立に関する陳情	出雲市今市町 出雲市農政会議 会長 福岡 勉 他1名	採 択 に 全員賛成

【陳 情】

番号	件 名	提 出 者	審議結果
5	子どもの保育料の負担軽減を求める陳情	出雲市古志町 平成26年度出雲市認可保育所 (園) 保護者会連合会 会長 野々村 学	不 採 択 に 賛成多数
	なぜ不採択	第3子以降保育料無料化については、所得に応じた適切な受益者負担が妥当であると考えするため。	
6	乳幼児等医療費助成制度の拡充を求める陳情	出雲市古志町 平成26年度出雲市認可保育所 (園) 保護者会連合会 会長 野々村 学	不 採 択 に 賛成多数
	なぜ不採択	医療費の無料化は、今年7月に就学前まで拡充されたばかり。改正後の検証もしないまま、さらなる拡充を進めることは拙速であるため。	
7	「子ども・子育て支援新制度」に関する陳情	出雲市古志町 平成26年度出雲市認可保育所 (園) 保護者会連合会 会長 野々村 学	不 採 択 に 賛成多数
	なぜ不採択	株式会社の保育事業への参入は国も認めていることであり、またオプション保育は各園が特色ある保育を実施できる制度であると考えするため。	

請 願 ・ 陳 情 の ご 案 内

請願・陳情は、皆さんの意見・要望を市政に反映させる重要な制度です。この制度によりどなたでも、市議会に直接要望することができます。

請願は出雲市議会議員が1名以上紹介議員となる必要があります。陳情は紹介議員は必要ありません。

請願と陳情の審査は、基本的に同じ取扱いとし、所管の常任委員会で審査した後に、本会議で結論を出します。(ただし、国などへ意見書を提出してほしい場合は、請願のみ受け付けることとしています。)

定例会ごとに提出締切があります。詳細は議会事務局議事係(TEL 21-6579)にお尋ねいただくか、市議会ホームページをご覧ください。

◆提出時に留意していただきたいこと

- 必ず日本語で、次の点を記載してください。(内容を表す件名、要旨、内容、提出年月日、代表の方の住所、氏名、押印、電話番号)
- 請願の場合は、紹介議員の署名または記名押印が必要です。
- 提出部数は、1部です。
- 請願や陳情の審議結果については、提出者にお知らせします。
- 提出された請願書・陳情書の内容、提出者(2人以上の場合は代表者)の氏名(名称)と住所(所在地)は、公表されますので、あらかじめご了承ください。

書 式 例
請願書(陳情書)

年 月 日

出雲市議会議員 様

請願者(陳情者)

代表者 住所

氏名

印

電話

-

紹介議員

氏名

印

〇〇〇〇〇〇〇〇に関する請願(陳情)

要旨

内容

議案などの賛否状況の一覧です。議長は採決には加わりません。

○：賛成、●：反対、－：欠席・棄権、除斥：議案と一定の利害関係を有する議員は、採決の際に退席することになっています。



議席に設置してある採決ボタン

番 号	大谷 良治	岸 道三	湯淺 啓史	神門 至	寺本 淳一	渡部 勝	福島 孝雄	原 正雄	大場 利信	井原 優	伊藤 繁満	保科 孝充	飯塚 俊之	板垣 成二	小村 吉一	大国 陽介	松村 豪人	遠藤 力一	萬代 輝正	板倉 一郎	多々納 剛人	川上 幸博	福代 秀洋	板倉 明弘	勝部 順子	米山 広志	山代 裕始	宮本 享	長廻 利行	古福 康雅	珍部 全吾	坂根 守
推第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
推第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除斥	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
推第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除斥	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
推第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除斥	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第26号	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●
議第27号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第28号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第29号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第30号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第31号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第32号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第33号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第34号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第35号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第36号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第37号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第38号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第39号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第40号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第5号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第6号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第7号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第8号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第9号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第10号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第11号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第12号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第13号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第14号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成、●：反対、－：欠席・棄権、除斥：議案と一定の利害関係を有する議員は、採決の際に退席することとなっています。

平成26年度
第2回出雲市議会(定例会)

採決結果

番 号	議 案 名	審議結果	賛成	反対
推第1号	出雲市農業委員会委員の推薦について（福間 勉）	推 薦	31	0
推第2号	出雲市農業委員会委員の推薦について（萬代 輝正）	推 薦	30	0
推第3号	出雲市農業委員会委員の推薦について（松村 豪人）	推 薦	30	0
推第4号	出雲市農業委員会委員の推薦について（板垣 成二）	推 薦	30	0
議第26号	平成26年度（2014）出雲市一般会計第3回補正予算	原案可決	28	3
議第27号	平成26年度（2014）出雲市国民健康保険事業特別会計第1回補正予算	原案可決	31	0
議第28号	平成26年度（2014）出雲市介護保険事業特別会計第1回補正予算	原案可決	31	0
議第29号	平成26年度（2014）出雲市企業用地造成事業特別会計第1回補正予算	原案可決	28	3
議第30号	出雲市児童クラブ条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第31号	出雲市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第32号	出雲市普通公園条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第33号	出雲市道の駅キララ多伎の設置及び管理に関する条例等の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第34号	出雲市保育所の保育の実施に関する条例を廃止する条例	原案可決	28	3
議第35号	出雲市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例	原案可決	28	3
議第36号	出雲市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例	原案可決	28	3
議第37号	出雲市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	原案可決	28	3
議第38号	備品の取得について（特殊災害対応化学消防ポンプ自動車）	原案可決	31	0
議第39号	市長及び副市長の給料月額の特減に関する条例	原案可決	31	0
議第40号	工事請負契約の締結について（佐田中学校改築建築主体工事）	原案可決	31	0
認第1号	平成25年度（2013）出雲市一般会計歳入歳出決算認定について	認 定	28	3
認第2号	平成25年度（2013）出雲市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	28	3
認第3号	平成25年度（2013）出雲市国民健康保険橋波診療所事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	31	0
認第4号	平成25年度（2013）出雲市診療所事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	31	0
認第5号	平成25年度（2013）出雲市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	28	3
認第6号	平成25年度（2013）出雲市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	28	3
認第7号	平成25年度（2013）出雲市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	28	3
認第8号	平成25年度（2013）出雲市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	28	3
認第9号	平成25年度（2013）出雲市農業・漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	31	0
認第10号	平成25年度（2013）出雲市浄化槽設置事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	31	0
認第11号	平成25年度（2013）出雲市風力発電事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	31	0
認第12号	平成25年度（2013）出雲市ご縁ネット事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	31	0
認第13号	平成25年度（2013）出雲市企業用地造成事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	28	3
認第14号	平成25年度（2013）出雲市駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	31	0

番 号	大谷 良治	岸 道三	湯浅 啓史	神門 至	寺本 淳一	渡部 勝	福島 孝雄	原 正雄	大場 利信	井原 優	伊藤 繁満	保科 孝充	飯塚 俊之	板垣 成二	小村 吉一	大国 陽介	松村 豪人	遠藤 力一	萬代 輝正	板倉 一郎	多々納 剛人	川上 幸博	福代 秀洋	板倉 明弘	勝部 順子	米山 広志	山代 裕始	宮本 享	長廻 利行	古福 康雅	珍部 全吾	坂根 守
認第15号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

議長

○：賛成、●：反対、－：欠席・棄権、除斥：議案と一定の利害関係を有する議員は、採決の際に退席することとなっています。

議案の採決結果（速報）および

本会議（施政方針に対する会派の代表質問、一般質問）の録画が

出雲市議会ホームページで
ご覧になれます。

○議案の採決結果

議案（条例案、予算案、人事案件、請願・陳情、意見書の取り扱い結果など）の採決結果を、出雲市議会ホームページの新着情報に「採決結果速報」として掲載しています（※議会終了後原則1週間以内に、掲載する予定です）。

以前の採決結果も、出雲市議会ホームページの「審議結果一覧」および「◆議案の概要」でご覧になれます。

※「審議結果一覧」は平成20年度第6回出雲市議会3月定例会から掲載しています。

「◆議案の概要」は平成26年度第1回出雲市議会6月定例会から掲載しています。

URL <http://www.city.izumo.shimane.jp/gikai>

採決結果（速報）は

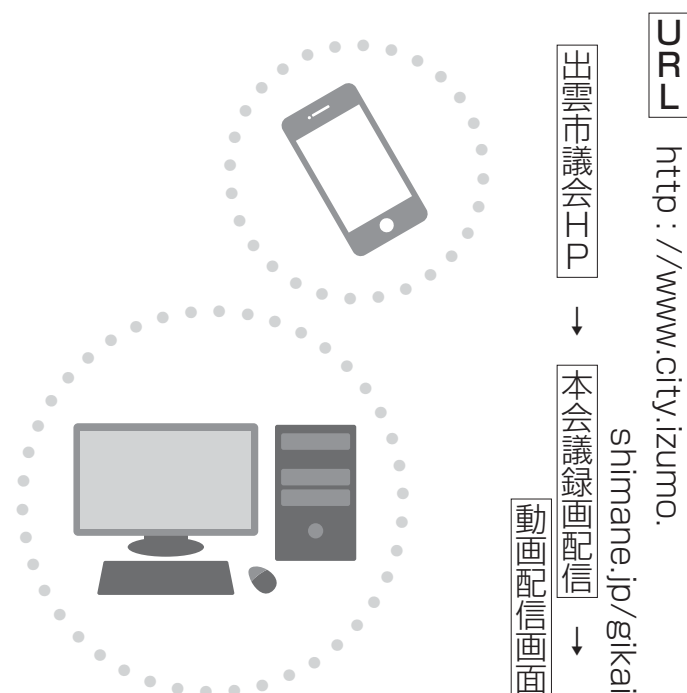
出雲市議会HP ↓ 新着情報

以前の採決結果および概要は

出雲市議会HP ↓ 審議結果一覧 ↓

「第○回出雲市議会（○月定例会）審議結果」および「◆議案の概要」

番 号	議 案 名	審議結果	賛成	反対
認第15号	平成25年度（2013）出雲市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	31	0
認第16号	平成25年度（2013）出雲市高野令一育英奨学事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	31	0
認第17号	平成25年度（2013）出雲市廃棄物発電事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	31	0
認第18号	平成25年度（2013）出雲市水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び 平成25年度（2013）出雲市水道事業会計決算認定について	認 定	28	3
認第19号	平成25年度（2013）出雲市病院事業会計決算認定について	認 定	31	0
請願第2号	四絡地区内県道今市遙堪線の交通安全対策にかかる用水路改良と歩道整備についての請願	採 択	31	0
請願第3号	2015年度（平成27年度）私立認可保育所（園）関係予算等についての請願	趣旨採択	22	2
請願第4号	手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願	採 択	31	0
請願第5号	斐川学校給食センターの移転新築に関する請願	趣旨採択	26	5
請願第6号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出を求める請願	採 択	31	0
陳情第2号	鶴峠区民の悲願である安全で安心して生活できる道路整備を求める陳情	不 採 択	24	7
陳情第3号	政務活動費の積極的な公開を求める陳情	趣旨採択	23	8
陳情第4号	出雲市農業振興施策確立に関する陳情	採 択	29	0
陳情第5号	子どもの保育料の負担軽減を求める陳情	不 採 択	28	3
陳情第6号	乳幼児等医療費助成制度の拡充を求める陳情	不 採 択	28	3
陳情第7号	「子ども・子育て支援新制度」に関する陳情	不 採 択	28	3
意見書第1号	地方財政の充実・強化を求める意見書	原案可決	31	0
意見書第2号	「手話言語法」制定を求める意見書	原案可決	31	0
意見書第3号	集団的自衛権行使容認の閣議決定撤回を求める意見書	否 決	7	24
意見書第4号	米価安定対策を求める意見書	原案可決	31	0
	議員の派遣について	原案可決	28	3



○本会議（施政方針に対する会派代表質問、一般質問）の録画

出雲ケーブルビジョン株式会社から中継映像の使用許可をいただき、平成24年度12月議会の一般質問から本会議（施政方針に対する会派代表質問、一般質問）の録画配信を行っています。市議会ホームページの「本会議録画配信」をクリックすると視聴できます。

※視聴は無料ですが、通信料は別途必要となります。

※視聴の際には事前に注意（免責）事項をご覧ください。

※質問日から原則1週間以内に配信を行っていく予定です。

行政視察報告

デマンドバスの運行と地域の理解

総合交通対策特別委員会

8月3日～5日

北海道滝川市と夕張郡栗山町を訪ね、地域公共交通総合連携計画に基づく実証実験などについて視察しました。

バス交通については、地形や地域性で形態も異なりますが、地元との対話も交えて取り組まれています。利用形態に応じたデマンドバスの運行や市内バス路線との乗継の利便性を図るなど工夫がなされています。また、スクールバスの有効活用、商店街との連携などさまざまな取り組みも見られましたが、いずれも改善はみられるものの赤字脱却は難しく、苦慮されています。

バス交通のあり方については、統一的な考え方を持ちなが



デマンドバス交通などについて視察（北海道栗山町）

らそれぞれの地域実態に応じた施策を検討するのは勿論ですが、それを利用し地域で守り育てていくことが肝要です。

（山代裕始 記）

観光地における渋滞および駐車場対策について視察

観光・企業支援調査特別委員会

7月1日～3日

もつながると考えます。

（川上幸博 記）

栃木県・経済産業省・東京都江戸川区において、観光地における渋滞対策および駐車場対策などについて視察しました。

出雲大社の遷宮により、予想以上の観光客で、大社へ向かう道路は、渋滞が発生し地域住民の生活にも支障が出ました。今後の交流人口の維持や地域住民が安心して利用できる道路にするため、渋滞緩和策やパークアンドライドについて学びました。时期的に渋滞が発生する所でも、電光掲示板などの体系的システムではなく、交通整理員を効率よく配置し、きめ細やかな情報を観光客に発信することにより渋滞緩和に結び付きます。また、パークアンドライドによって、運行時間を短縮し運行本数が増加することにより多くの観光客リピーターの獲得に



季節的な渋滞対策について説明を受ける（栃木県日光市）

予算審査のあり方を調査

議会運営委員会

8月6日～8日

議会運営委員会では、三重県四日市市、鈴鹿市、松阪市を訪問し、予算審査のあり方について視察を行いました。視察に至った経過として、現在の予算特別委員会での議案審査では、常任委員会の専門性を活かした詳細な審査ができないことや、特別委員会で審査することについて委員会の性格から適当ではないなどの理由から、審査のあり方を検討することとなりました。3市それぞれ、審査方式が異なっていました。ポイントとしては予算常任委員会を設置することによって課題を克服することができると考えられます。今後は視察で得られた事例を参考にして、委員会構成や分科会審査方式などの検討を重ね、さらに充実した予算審査の実現に向け協議を進めていきます。

(多々納剛人 記)



予算審査方式について説明を受ける（三重県鈴鹿市議会）

議会活動（8月12日～11月10日に開催された会議）

- | | |
|--------------------------------------|---|
| 8月22日(金) 議会運営委員会、行財政改革特別委員会 | 協議会正副会長、監事、相談役会議 |
| 26日(火) 中海・宍道湖圏域市議会議長会(松江市) | 14日(火) 広報委員会、タブレット端末等活用推進委員会・ICT活用調査研究会合同会議 |
| 27日(水) 文教厚生委員会協議会、堀川水系対策協議会 | 17日(金) 建設水道委員会協議会・斐伊川・神戸川治水対策協議会合同協議会 |
| 29日(金) 議会運営委員会、全員協議会、建設水道委員会協議会 | 18日(土) 東部4市議会議員交流会 |
| 29日(金)～9月26日(金) 平成26年度第2回定例市議会 | 20日(月) 広報委員会 |
| 9月4日(木) 広報委員会 | 21日(火)～23日(木) 原子力発電・新エネルギー調査特別委員会行政視察 |
| 17日(水) 行財政改革特別委員会、文教厚生委員会協議会 | 28日(火) 議会運営委員会、全員協議会、大社立久恵線対策協議会 |
| 24日(水) 議会運営委員会、行財政改革特別委員会、文教厚生委員会協議会 | 29日(水) 第5回山陰都市連携協議会 |
| 25日(木) 文教厚生委員会協議会 | 30日(木) トキ協議会 |
| 26日(金) 全員協議会 | 31日(金) 総務委員会協議会 |
| 30日(火) 森林・林産業対策協議会 | 11月4日(火) タブレット端末等活用推進委員会・ICT活用調査研究会合同会議 |
| 10月3日(金) 地域医療福祉協議会 | 5日(水) 全国市議会議長会第97回評議員会 |
| 6日(月) 議会運営委員会、秋季島根県市議会議長会定期総会 | 6日(木)～7日(金) 文教厚生委員会行政視察 |
| 7日(火)・8日(水) 全国自治体病院経営都市議会 | |

今後の本会議の予定

平成26年度
12月定例市議会 会期日程(案)

11月28日(金) 本会議(開会、議案上程・説明)

12月 2日(火) 本会議(一般質問・1日目)

3日(水) 本会議(一般質問・2日目)

4日(木) 本会議(一般質問・3日目)

5日(金) 本会議(一般質問・4日目、議案質疑、委員会付託)

9日(火) 総務委員会

10日(水) 文教厚生委員会

11日(木) 環境経済委員会

12日(金) 建設水道委員会

15日(月) 予算特別委員会(1日目)

16日(火) 予算特別委員会(2日目)

18日(木) 本会議(委員長報告、討論、採決、閉会)

※一般質問を行う議員数により12月5日の日程が
4日に繰り上がることがあります。

議会傍聴にいらつしやいませんか

出雲市議会では、本会議及び委員会は、原則公開しています。(ただし、議長及び委員長の判断により非公開とする場合があります。)

当日、議場(委員会室) 前の傍聴受付で、傍聴受付簿に住所、氏名を書いていただくだけで傍聴できますので、お気軽にお出かけください。

なお、要件によっては、傍聴に入ることができないこともあります。

傍聴席は、議場60席、委員会室10席程度あります。事前の連絡は必要ありませんが、団体での傍聴を希望される場合には、出雲市議会事務局まであらかじめご相談ください。

託児サービスをご利用ください

本会議・委員会を傍聴される間、お子さまをお預かりする託児サービスをしています。

託児を希望される場合は、原則として希望日の1週間前までに申込みが必要です。詳しくは議会事務局へおたずねいただくか、市議会のホームページをご覧ください。

編集後記

今年は例年より早く涼しくなり、体調的には過ごし易かった様に思いますが、自然の力の動向によりさまざまな影響がありました。防災対策や産業振興に多くの課題が突き付けられたような気がします。議会としては市民の暮らしを守ることを大前提に、更なる議論・提案の必要を感じました。

9月議会からタブレット端末の使用が他市に先駆け本格的に開始されました。さまざまな資料が簡単に閲覧でき、紙媒体の削減、資料の収集に大いに役に立っています。

今後市では、行革の推進により、公共施設使用料、証明などの手数料の見直しを検討されます。マイナンバー制度導入の準備も始まります。市議会としては、市民の暮らしに影響を与えるさまざまな課題に対し、これからも議論したいと考えます。

(広報委員会 福島孝雄)

広報委員会

委員長	大場 利信
副委員長	渡部 勝
委員	岸 道三
委員	湯浅 啓史
委員	神門 至
委員	寺本 淳一
委員	福島 孝雄
委員	井原 優
委員	伊藤 繁満
委員	長廻 利行
委員	福代 秀洋
委員	坂根 守

議会に関してのお問い合わせは

市議会だよりにお気づきの点がございましたらご意見をお寄せください。より充実した紙面づくりの参考とさせていただきます。

出雲市議会事務局

〒693-8530 出雲市今市町70

TEL : (0853) 21-6246 FAX : (0853) 21-6251
URL : <http://www.city.izumo.shimane.jp/gikai>
メール : gikai@city.izumo.shimane.jp/